



# 10

October 2025



➡ 精華町

《みつける》

知っているようで  
知らない精華町を  
みんなで再発見。

かつては山間僻地の集落  
独自に築いた文化も残る「東畑」

写真／東畑北ノ下集落入口付近の風景



## 東畑地区の歴史と今

私は東畑に生まれ育って80余年、生粋土着の東畑人です。かつての東畑を思い起こすとき、今では懐かしい思い出があります。1972年（昭和47年）、父のお通夜にお参りいただいた私の上司が祝園駅からタクシーに乗り、真っ暗闇の山道を奥へ奥へと進むのに不安を覚え、運転手さんに「本当にこの先に集落があるのですか」と聞かれたそうです。それ以来、職場では私の住処を「狐狸の啼く郷」と言われました。学研都市構想が実現に向けて動き出したのはそれからしばらくのことです。

かつては  
「狐狸の啼く郷」でした！



2025年の地図



1985年の地図

右の地図はまだ精華町の開発がされていない時代の地図で、一面が田んぼや山林だった様子がうかがえます。左の地図は開発によるけいはんな学研都市の誕生後の地図です。学研都市の誕生で東畑の周辺は大きく変わりましたが東畑は大きくは変わらず、その景観を今に伝えます。それでもいろんな変化がありました。



つづきは裏面へ



分校は廃校になり、全学年が徒歩で通学できるようになりました。



東畑集会所について



開発の工事が始まった頃、私はその地域を通り抜けて職場へ通っていました。期間中、開発現場は高い遮蔽物（草木）で覆われて何も見えず、時折通路が変更されることで工事が進んでいるのだな、と思いました。数年経って、その覆いが除かれたときは目を見張りました。かつて存在した山々や急な峠道も棚田も溜池も、すべて三面の平地に様変わりしていました。その後、けいはんな学研都市の誕生は東畑にもいろいろな変化をもたらします。



けいはんな学研都市誕生！



◀本文はこちらからオンラインでもご覧いただけます。

精華町商工推進室

〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南福八妻小字北尻70番地 TEL 0774-34-0234



# 東畑地区の歴史と今

さて、これからこの集会所を起点に地区を一巡りしましょう。

## ①向かう斜面に人家が点在



集会所から「南の谷」の道を鳥谷池方面に向かいます。少し上り坂ですが、向かう方向の斜面には家が点在して見えます。里山らしい光景だといわれますが……

## ②右手に専光寺の石垣が聳えてみえ



府道を横切り、かつての造り酒屋の前を過ぎると、右手にお城のような高い石垣がみえます。専光寺の石垣です。見上げると、よく崩れないなあ！と感心します。

## ③坂を上り切った所が鳥谷池！



さらに続く坂道を上りきると、目の前に鳥谷池が広がります。農業用溜池ですが、少しでも多くの田に行きわたるようにと、村の最も高い場所に大きな池をつくられた先人の苦労が偲ばれます。

## ④いざ、嶽山へ！



嶽山は精華町の最も西端に位置し、標高は259.5メートル、町内で最も高い山です。頂上へ登るには三つのルートがあります。嶽山の頂上からは、眼下に精華町の町並みや木津川、さらに対岸の山並みが望め、南の方に目を向けると若草山などが望めます。(最近竹などが邪魔しています。)



頂上には京田辺市の打田と東畑の行者像が少し離れた位置にあります。三つの登山ルートのうちよく利用されるのは南東側です。その急斜面を降りたところに「わくわく嶽山広場」があり、イベントが催されたり、若草山の山焼きを遠くに見ることもできる場所です。



## ⑤真宗大谷派「専光寺」到着



嶽山のすぐ下が専光寺で、東畑地区唯一のお寺です。創建は中世(平安末期)と言われ、東畑の集落もその頃にできたのでは？と思われる。門をくぐると先ず目につくのは広くて大きな屋根の本堂で、京都府暫定登録文化財に登録されています。本堂内に入ると、内陣中央に「阿弥陀如来立像」が、両脇の余間に「親鸞聖人」を初めとした掛軸が掛けられています。また、江戸時代後期の作とみられる鶴図(2面)と孔雀図(4面)の襖絵があります。



境内は高い石垣の上であり、堀越しに遠景が一望できます。また、本堂の裏側は急な斜面になっていて、岩肌を生かした大きい庭園がつけられています。



## ⑥東畑神社はお寺からすぐ近くです！

専光寺からは徒歩2、3分で東畑神社の西の鳥居が見えます。正面の鳥居は東側にあり、くぐると急な石段で、それを上った先が境内です。専光寺と同様、嶽山の麓につくられています。東畑地区は湧き水の少ないところですが、嶽山周辺からは今も山水が湧いています。そんなところに神社・寺院が建っています。



神社の境内からの眺めは専光寺とはガラッと変わります。二つの尾根に挟まれるように30軒ほどの家が建っています。「北ノ谷」地区です。

## ⑦気の毒な「樫の樹」について

東畑神社のすぐ下に、老木の樫の樹が一本あります。樹齢300年はするだろうと思われる。



今から50年くらい前までは家の屋根の2倍くらいの高さまで、青々とこんもり茂っていました。その頃、この木の側に新しい道がつくられ根の一部を切ることにしました。

そして、それから少しずつ少しずつ元気をなくしてしまいました。どうしてそのとき、ちゃんと樹を守ろうとしなかったのか？が悔やまれます。

## ⑧蟹満池から夜泣き地蔵へ



蟹満池は東畑地区のもう一つの溜池です。こちらは地区の北側で、鳥谷池と比べて格段に小さく、谷あいにあります。この池の堤を通り越し、坂道を上



たところ、夜泣き地蔵がいます。霊験があるのか、古くから良く知られ大事にされています。

## ⑨「北ノ下」の棚田を経て、出発点の集会所に到着



蟹満池の堤から見下ろす景色が「棚田のよう」とは、ふるさと案内人の会のS氏の弁。ささやかな棚田と言えど、そこからは府道に出ると、間もなく出発点の集会所に戻ります。

## ○最後に

「東畑住民として、以前は山深い辺鄙な地域だと思ってきました。けいはんな学研都市の誕生で、この地域に新旧住民の文化の交流が生まれました。それは当初予想もしなかった嬉しい展開です。今後が楽しみです。」



## 精華町民ライタープロフィール

### 前田 眞千代

Machiyo Maeda

退職後、町の歴史や文化財等に興味を持ち始めました。健康には歩くことが大事だと、4、5年前から孫の朝の登校と一緒に歩いています。

○精華町文化財愛護会副会長  
○NPO法人精華町ふるさと案内人の会

みつける運動企画 第126回 せいか小さな旅

## 11月2日(日) 大人も子どもも、東畑で秋を満喫！ 「嶽山登山or芋掘り&収穫祭」

ふるさと案内人の会・みんなの元気塾・東畑集落営農組合・おーばんせさみの合同企画

- ①嶽山登山コース(約3.5km)
- ②芋掘りコース(約1km)
- ③「秋の収穫祭/秋の味覚マルシェ」を楽しもう！

詳細は華創10月号またはHPをご覧ください▶



## ○東畑地区を一巡りのスポット及びコース案内

マップ上の①から⑨のスポットは、上記記事の①から⑨に対応しています。スポットの内容とコースをご確認頂ければよりウォーキングを楽しんで頂けます。是非、実際のスポットを自身で体験ください！



## 精華町「みつける」からのお知らせ

◆あなたがみつけた「素敵な精華町の写真」を送ってください！



## 応募方法 詳細▼



精華町では町内外の皆様からの写真の応募をお待ちしています。



▶本文はこちらからオンラインでもご覧いただけます。

精華町商工推進室

〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南福八妻小字北尻70番地 TEL 0774-34-0234